

あっという間の3ヶ月間

1. 応募の動機

私は昔から外国語を学習することが好きで異文化にとっても興味があったため、この高校に入学し、高校生で留学することを目標に日々英語の学習に励んできました。高校生活を送っていく中で外資系のCAになりたいという夢ができ、夢の実現に向けて英語力を向上させてたくさんの経験を通して国際的な視野を養いたいという思いがより一層高まりました。そんな中、英語の先生にこのプログラムを勧めて頂いたことがきっかけです。

2. カナダでの生活

カナダの高校は日本の大学のカリキュラムに似ていて、専門的な科目がたくさんあり、一コマ75分程で四時間授業です。自分が学びたい科目を4つ選択し、それが半年間続くというのがカナダの高校のシステムでした。私はせっかくなら日本の高校ではあまり受けられない科に挑戦してみようと思い、心理学、フランス語、美容学、美術を選択しました。また月曜

日と水曜日の放課後はパートナーの所属している合唱団と一緒に通いました。英語の曲だけでなくアフリカの曲など、様々な作品を歌い、一週間後の週末には終戦記念日のコンサートや教会で開催されるコンサートに出場させていただきました。指揮者や仲間から褒めてもらったりと、とても嬉しく達成感を得ることができました。休みの日にはショッピングモールに行って買い物をしたり、アイスホッケーの試合を見に行ったり、パートナーとドラマを見たり、ピアノとチェロで合奏したりもしました。本当に趣味がびつたり

合う最高のパートナーに出会えて、毎日がとても楽しかったです。

また、ジャスパーとバンフに連れて行ってもらい優雅な休日を過ごしました。日本では見られない大自然と大きな山々を目にし、とても感動しました。バンフでは念願のスキーに連れて行ってもらい、とても充実した休日を送らせてもらいました。最終日にはホストファミリーが学校の友達を招待してパーティーを開いてくれ、みんなでボーリングをして楽しみました。とても楽しくてお別れするのが辛かったですが高所の思い出がたくさんでき、あっという間の6週間でした。



3. 日本での受け入れ

パートナーに恩返しをしたいという気持ちが募っていく一方で、私がカナダでもらったようにできるか、当初は不安でしたが、私達の誕生日が一日違いだったので、お祝いで登別温泉に宿泊し伊達時代村にも行きました。温泉など日本の文化を満喫していた様子が良かったです。3月には東京旅行にも行き、一緒に着物を着て浅草を歩いたり、中華街に行ったりと日本でもパートナーとたくさんの思い出を作ることができました。学校生活では慣れないことも多かったと思いますが、クラスに他の留学生もいたので、その子と一緒に日本語の授業を受けたり、休日も一緒に遊びに行ったりと仲良くなっている感じが感じられました。パートナーは合唱部に所属し、部員の人たちと仲良くなれた様子が部活終わりには毎回楽しかったと言っていました。最終日のミニコンサートでは歌詞を覚えて、とても楽しそうに歌っていた様子が印象的でした。

4. 全体を通して

この交換留学を通して英語力に以前より自信がただけでなく、行動力が身についたと実感しています。カナダでは言語の壁に苦戦しながらも甘えられない環境でときには苦しいこともありましたが、それを乗り越えることができた今では自信に変わり、大きく成長できたと感じています。たくさんの人に出会えた奇跡、たくさんの経験をしたこの交換留学は一生の宝です。この貴重な経験を支えてくれたすべての人に感謝を忘れず、次なる目標へ努力を重ね、夢を実現させたいです。